広報

あに

1986
12月

編集・発行　秋田県阿仁町役場総務課

No.292

この冬に備え、まきはこび

今年は初雪も早く、積雪が心配されましたが、今の所は足踏み状態。でも、冬の備えは万全にしておかなければなりません。
ここ、中村小学校では、児童総出で、教室へ薪はこびを行いました。今年の薪は乾燥具合もよく、特有のやさしいぬくもりが、教室いっぱいに広がります。この冬も、暖かく過ごせそうですね。

消防吏員募集

鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部では、次により消防吏員を募集しております。

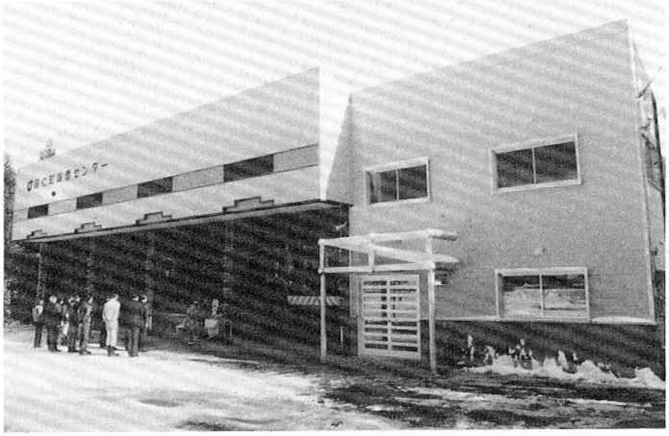
▶募集要項

1. **採用予定人員**　1名
2. **受験資格**
 (1)昭和61年11月30日現在満20歳以上33歳までの者
 (2)高等学校卒業者又はこれと同等以上の学歴を有する者
 (3)日本国籍を有し、昭和61年11月30日現在、阿仁町に住所を有し居住している者で、地公法第16条に該当しない者
 (4)身体の条件
 - 身長　おおむね 160cm以上
 - 体重　おおむね50kg以上
 - 胸囲　おおむね2分の1以上
 - 視力　両眼とも裸眼 0.3以上
 - その他　諸機能が正常で、消防吏員としての体力を有し精神、身体に疾患がないこと
 (5)運転
 普通免許以上の免許を有する者
3. **受験手続**
 昭和62年1月10日まで消防本部又は阿仁分署に、次の書類を提出してください。
 (1)写真（6ヶ月以内のもので履歴書に添付）
 (2)履歴書
 (3)最終学校の卒業証明書
 (4)健康診断書
4. **試験**
 (1)2月5日(木)開発センター午前9時受付
 初級公務員採用試験と同様の筆記試験、作文面接、体力テスト
5. **採用予定日**　昭和62年4月1日
6. **採用後の待遇**
 広域職員給与規定による
7. **職務**
 (1)消防吏員としての業務に従事
 (2)採用後、消防学校において必要な研修を受け昇進は昇任試験による

※くわしいことは、消防本部総務課(62―1119)におたずね下さい

比立内に 除雪センターが完成

ドーザーなど四台収容可能



▲除雪センターで行われた入魂式

鉄骨づくり、出動に備え待機

比立内地区に、除雪ドーザーなど、車両四台を収容可能な格納庫「阿仁町除雪センター」が完成。十七日、町、建設関係者等が出席して、入魂式が行われました。

同地区に冬期間配属される除雪ドーザーなどは、これまで、比立内駅前の農村環境改善センター駐車場を基地としていましたが、屋根付きの、専用格納庫の設置が望まれていたものです。

比立内の町道河北線の終点付近に建設された同センターは、鉄骨造りの一部二階建てで、床面積が二百七十八・二三平方㍍。除雪機械など四台をゆっくり収容できるホールのほか、オペレーター用の事務室、仮眠室、休憩室などもあり、機能的な建物となっています。建設費は三千五百万円。

すでに、除雪ドーザーやロータリー車も同センター入りして、この冬の、私たちの生活道路の確保のため待機しています。

なお、広報先月号でもお願いしましたように、除雪を効率的に行うためにも、町民の皆さんのご協力を、重ねてお願いいたします。

新しい「阿仁町除雪センター」の電話番号は、八四―二六四六番です。

町長日記

11月16日～12月15日

- 17日　米代川地域施業計画区国有林野等所在市町村長有志協議会（大館市）
- 18日　全県町村長行政連絡会議（秋田市）
- 19日　むらおこし事業懇談会
- 20日　米代川地域施業計画区地元説明会（鷹巣町）
- 21日　臨時町議会
- 〃　秋銀会
- 25日～28日　全国町村長大会、全国過疎地域振興連盟定期総会等に出席のため上京
- 1日　秋田県地域交通対策協議会総会（秋田市）
- 〃　鷹角線敷設期成同盟会総会（秋田市）
- 2日　記者クラブ新春座談会（鷹巣町）
- 3日　民生委員辞令伝達式　あすの阿仁を創る生活推進会議
- 4日　鉄道建設公団臨時総会（東京都）
- 6日　佐藤議長藍綬褒章祝賀会
- 7日　大阿仁商工協友会総会
- 8日　課長会議
- 11日　秋田大学へ陳情（秋田市）
- 12日　町立病院運営協議会
- 13日　大阿仁財産区協議会
- 15日　阿仁合婦人会「町長と語る会」

いこいの広場（吉田・幸屋）農村公園が誕生

＝農村総合整備モデル事業＝

国の補助事業、農村総合整備モデル事業で、今年は吉田と幸屋に、地区のいこいの広場、農村公園が誕生しました。

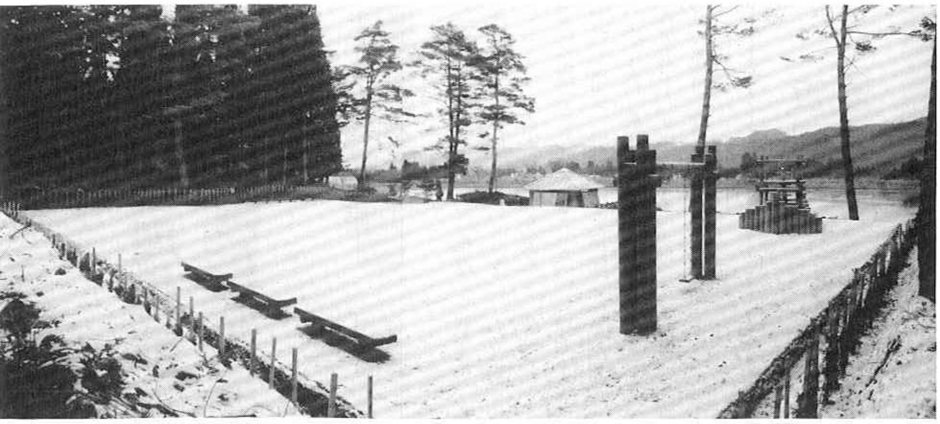
吉田農村公園は、同地区の十二ノ沢林道入口、吉田堤に面した、周囲の環境に恵まれた所に造られました。

三千平方$^{メー}_{トル}$の広さを持ち、千五百十一万円の工事費で完成。あずま屋、モダンなトイレ、丸太を使用した舟形遊具、ブランコなどが備えつけられ、広場にはゲートボールコートもあります。

一方、幸屋農村公園は、同児童館周囲の、ゆるやかな斜面を利用して造られました。

千八百六十平方$^{メー}_{トル}$の広さで、工事費は九百五十七万円。三カ所の階段をはさんで、芝生の広場、スベリ台、ブランコの広場、ゲートボールの広場と続き、展望のよいあずま屋に達します。

両公園とも、園内に桜、サツキ、アジサイなどたくさんの樹木が植栽され、季節を通じて景観を楽しめるようになっています。今は、樹木も冬囲いがされ、ひっそりとしていますが、緑が芽を吹く来春には、地区の人たちでにぎわいを見せることでしょう。



▲吉田堤を見わたし、環境も美しい「吉田農村公園」

役場年末・年始休日のおしらせ

12月29日(月)〜1月3日(土)

消防出初式

1月4日(日) 10:30〜
行進〜旧阿仁合小〜町民体育館
式典〜町民体育館

新設の町史編さん室長に佐藤(前)教育次長

町史編さん室の新設に伴い、町職員の人事異動が次のように行われました。

（十二月一日付）

町史編さん室長（伝承館長兼務）
佐藤昭春（教育次長）

農業委員会事務局長
杉渕清一郎（財政課長補佐）

教育次長
細川光義（農業委員会事務局長）

（十一月二十五日付）

財政課徴収係長
佐藤敏郎（福祉保健課保健衛生係長）

秋田内陸縦貫鉄道運営助成基金へのご協力のお願い

鷹角線は、皆様ご承知のとおり第三セクター、秋田内陸縦貫鉄道株式会社によって、名称を秋田内陸線に変えて、今年十一月一日開業いたしました。

鉄道の全線開業にあたっては、幾多の変遷があったわけでありますが、ようやく、全線開通を前提とした開業を迎えることが出来ました。これも、一重に町民の皆様の息の長いご協力、ご支援のたまものと、深く感謝申し上げます。

さて、本鉄道の健全な運営に寄与する「秋田内陸縦貫鉄道運営助成基金」については、昨年から、町民各位のご理解とご協力のもとに取り組んでまいりましたが、二カ年にわたる募金事業であり、今年も又お願いすることになりました。

年末・年始を迎え、諸事出費の多い所誠に恐縮に存じますが、私たちの鉄道として、将来とも経営を安定させていく意味から、よろしくご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

秋田内陸縦貫鉄道運営助成基金阿仁町協力会々長　町長　近藤竹雄

秋田内陸縦貫鉄道運営助成基金 昭和61年度 民間寄附金募集要領

1．募金目標額

阿仁町募金割当額　4,600千円
内訳 { 民間寄附目標額　3,100千円
　　　 町負担予定額　1,500千円

（参考　昭和60年実績
民間寄附　3,100千円（実際の寄附額 3,388千円）
町費負担　1,500千円
県納入月日　昭和61年3月26日　1,800千円
　　　　　　昭和61年4月19日　2,800千円
　　　　　　計　4,600千円）

2．基金募集内訳

(1) 1 世 帯	1口 1,000円以上	募集目標額	1,350千円
(2) 各種団体	1口20,000円以上	〃	100千円
(3) 町内企業	1口10,000円以上	〃	400千円
(4) 商 店	1口3,000〜10,000	〃	650千円
(5) 個人協力者	1口10,000円以上	〃	600千円

3．募金募集方法

世帯…各部落会長依頼　商店…阿仁町商工会依頼
各種団体、町内企業、個人協力者……役場

4．募集時期　昭和62年1月31日まで

生活の合理化推進に向け「あすの阿仁を創る生活推進会議」が発足

まず、会費制結婚披露宴を全町に

町の生活合理化を効果的に推進し、新しい生活慣行（ならわし）を確立しようと、「あすの阿仁を創る生活推進会議」が設立されました。

町内各部落会、婦人会、公民館分館、商工会、農協等各関係団体の代表者五十人が出席して、三日、阿仁町公民館で設立総会を開催。規約や役員を決めたあと、当面して取り組む活動方針について話し合いました。

この中で、時代にふさわしい消費生活、とりわけ冠婚葬祭の改善のためには、全町的規模の推進母体が必要ということで一致。公民館が主体となって準備を進めてきた同会議の設立を了承しました。

そして、当面は「会費制結婚披露宴」を強力に推進してゆくこととし、来年四月からの実施へ向けて、ピーアール活動に力を入れてゆくことを確認しあいました。

役員は次の方々です。

顧問　近藤竹雄（町長）

会長　山田賢三（部落会長会々長）

副会長　吉田稲穂（公民館長）、伊藤照夫（商工会長）、柴田吉治（農協組合長）、小武海ウタ（阿仁合婦人会長）、中嶋イシ（大阿仁連合同）

委員　佐藤源治（比立内部落会長）加賀勝之輔（上小様同）、梅井繁雄（吉田同）、安保四方治（下新町同）、高橋正（畑町東裏同）、佐藤国男（同）、奈良修子（幸屋渡同）、松橋静子（中央同）、柴田美智（戸鳥内同）、根子同）、伊東孝徳（伏影同）、柴田春美（中村同）、柴田一忠（大阿仁分館長）、松橋キン子（商工婦人部長）、斉藤イヨ子（生活改善グループ代表）、鈴木千鶴子（打当同）

幹事　泉富貴子（同）、春日サト（横町婦人会長）、高橋フキ（下新町同）、古林美智（荒瀬同）、武田ヒデ（萱草同）、辻利一（湯口内部落会長）、中嶋礼治（笑内同）、上杉政吉（長畑同）

※役員の任期は二年。

出稼ぎの皆さんへ「就労懇談会」のお知らせ

ふる里を離れて出稼ぎに行っている皆さんの、お正月帰省にあわせて、今年も新年五日に、打当の「ふる里センター」で、出稼ぎ者就労懇談会が開かれます。

出稼ぎ先での雇用面や、安全就労など、職場の情報を交換しあうと共に、ふる里での一日を親睦と交流で楽しんでもらおうと開かれるものです。

仲間どうしお誘い合わせのうえご参加ください。

○日時　一月五日(月)
　午前十時～午後二時

○場所　打当「ふる里センター」

○内容　血圧測定、出稼ぎの知識、懇談会、アトラクション（民謡・歌謡ショー）

※血圧測定は入浴前に行いますので、到着次第受診してください。

※次表のとおり福祉バスを運行しますが、行きは秋田内陸線乗車運動に協力のため、比立内まで汽車をご利用くださるようお願いいたします。

なお、帰りは小様までバスを運行します。

秋田内陸北線

列車時刻	
小　渕	8：47 発
阿仁合	9：09 〃
荒　瀬	9：14 〃
萱　草	9：20 〃
笑　内	9：25 〃
岩ノ目	9：30 〃
比立内	9：36 着

福祉バス

バス時刻	
比立内駅前	9：40 発
長畑バス停	9：45 〃
戸鳥内 〃	9：50 〃
打　当	10：00 着

▲受章祝賀会（山村開発センター）で、浜田氏(左)と、湊氏(右)＝十三日＝

浜田氏 湊氏 に教育功労章

今年度の秋田県教育功労者に、当町の浜田章氏（六一歳）、湊正俊氏（六一歳）の両氏も選ばれ、栄えある表彰を受けられました。両氏の主な事績・略歴は次のとおりです。

浜田氏は、長年にわたり、県教育庁義務教育課長、教育次長など教育行政の要職を歴任。教職員研修体制の確立、機構改革などに尽力された功績が認められたもの。

昭和十八年阿仁合国民学校助教諭、鷹巣西小学校長、県教育庁北教育事務所長、同義務教育課長、同教育次長などを歴任。現在、県コミュニティ・カレッジ学長。

銀山字下新町三八。

湊氏は、青少年、高齢者教育の指導等、長年にわたり地域の社会教育指導者として活躍。学校教育と社会教育の連携の推進、青少年育成町民会議の設立などに尽力された功績が認められたもの。

昭和二十七年大阿仁小学校助教諭。中村小、大阿仁小学校長を歴任。現在、県青少年育成運動推進指導員。町社会教育委員、町公民館運営審議会委員。

比立内字前田表六一四。

ご紹介します 民生・児童委員の皆さん

～ 悩みや困りごと、気軽にご相談を ～

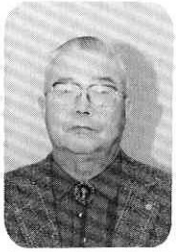
町の民生・児童委員の任期満了に伴い、新しく任命された委員二十六人に、三日、山村開発センターで、町長から委嘱辞令が伝達されました。

民生・児童委員は、地域の弱い人、恵まれない人の良き相談相手として、個人や、家族の力では解決できない悩みや、困りごとをいっしょになって考え、活動してくれることになります。

新任の二人を含め、二十六人の委員の皆さんが、それぞれの地域であなたのご相談をお受けします。どうぞ、気軽にご相談下さい。

〔氏名(年齢)、再＝再任・新＝新任、担当地区、電話番号の順〕

高橋　幹子 (62) 再　新町　82-3740


山本　繁雄 (68) 再　湯口内　82-2248

吉田フサ子 (50) 再　吉田　82-3193

鈴木　精子 (56) 再　小渕　82-3280

戸嶋　チヱ (68) 再　小様　82-3298

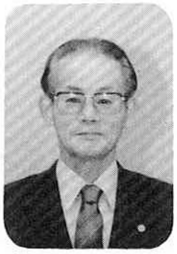
加藤茂(67)再　畑町・小沢・荒瀬川82-2165

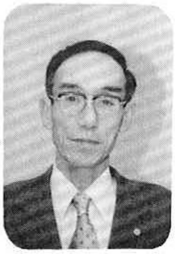
根田　ヒサ (58) 再　上新町　82-2289

庄司　陽子 (46) 再　上新町　82-2066

村元　兼治 (62) 再　下新町　82-3308

佐藤　進 (63) 再　下新町　82-2016

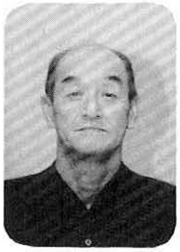

山口　道信 (70) 再　大町　82-3389


米谷　保夫 (62) 再　大町・真木　82-2318

西根俊男(58)再　幸屋・岩ノ目沢・鳥坂84-2313

中嶋　幸雄 (62) 再　笑内・伏影　84-2805

佐藤正一郎 (68) 再　根子　82-2575


越前谷正次郎(66)再　萱草　82-2032

西根　誠子 (42) 再　荒瀬　82-2207

安東　昭 (51) 再　荒瀬　82-3243

高橋　正 (62) 新　畑町東裏　82-3474

鈴木　京子 (44) 再　打当　84-2521

鈴木　孝一 (53) 再　中村　84-2603

柴田　光顕 (57) 再　戸鳥内　84-2430

上杉　睦子 (56) 再　長畑　84-2538

松橋　静子 (57) 再　比立内　84-2150

松橋　久治 (62) 新　比立内・新中84-2611

鈴木　茂美 (52) 再　幸屋渡　84-2008

今年は高値で推移
肉牛農家に明るい表情

畜産農家がこの一年、丹精こめて育てた肉用牛を競い合う仔牛品評会と市場が去る十月二十三日と、十二月十四日に阿仁家畜市場で行われました。

今年の仔牛市場価格は、四月の市場でも全国的な高値推移を反映して、平均㌔単価で昨年を二百円上回る九百五円で取引きされ、農家は、この十月、十二月の市場にも、期待を寄せていました。

十月の市場には、成牛を除く仔牛は七十三頭、十二月市場には、同十九頭が上場されましたが、一頭当り平均価格で十月、十二月とも三十万円台に上り、平均㌔単価も、十月に千二百円、十二月に千二百三十五円と、高値で推移しました。

会場の阿仁家畜市場も久しぶりに活気をとりもどし、農家の表情にも、明るさがよみがえっていました。

町農林畜産課の高堰課長は、「仔牛価格の高値推移は、一時（五十七年～五十九年）の価格暴落で農家が繁殖牛を手離したことから、肥育素牛の不足を招いたこと、円高の影響で輸入濃厚飼料が値下がりし、肥育者側の購買意欲が高まったこと、さらには、褐毛牛、黒毛牛等上質肉の需要が増えていることなどが、総合的に作用したためと思われます。来年から始まる水田農業確立対策の面からも、米プラス肉牛等、複合経営の推進は論を待たないところ。足腰のしっかりした経営基盤を確立させたいと考えます」と話していました。

第四十七回（十月）・および第四十八回（十二月）の仔牛品評会の成績は、次のとおりでした。

〔**第四十七回仔牛品評会**〕

優等賞＝たまひめ（幸屋、西根健一）

一等賞＝あけみ（比立内、佐藤忍）第一春満（根子、佐藤英治）

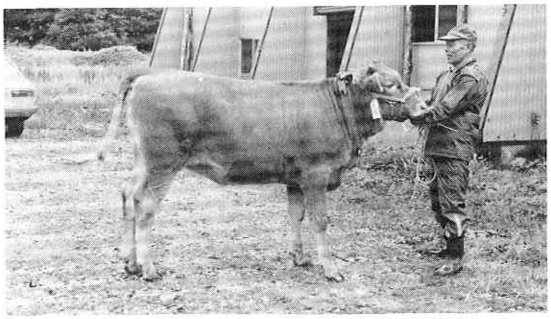
二等賞＝たかなみ（幸屋、西根頼明）、あきよ（小様、柴田秋太郎）、武光（幸屋、西根頼明）、春優（小様、福田豊造）

〔**第四十八回仔牛品評会**〕

優等賞＝しげたま（幸屋、西根頼明）

一等賞＝たつこ（比立内、佐藤忍）桜一（萱草、上杉幹男）

二等賞＝みやひめ（小様、宮野涼蔵）、ふくしげ五（根子、佐藤英治）、一春（小様、福田豊造）



▶第四十七回仔牛品評会で優等賞の「たまひめ」号と西根さん

保育所入所受付のご案内
＝一月六日から三十一日まで＝

保育所では、四月に入所を希望する、お子さんの受け付けを、次のとおり行います。申請に必要な書類は今から揃えるように、心掛け下さい。

※　申請書用紙は福祉保健課及各保育所にあります。

一、**入所申請書受付期間及場所**

昭和六十二年一月六日～一月三十一日

役場福祉保健課又は各保育所

二、**入所手続**

入所を希望される方は、入所児童一人につき一部の入所申請書を作成し、その関係書類を必ず添付して下さい。

㋑　常勤の場合　　就労証明書、源泉徴収票

㋺　パートの場合　就労証明書

㋩　内職の場合　　内職証明書

㋥　母親の疾病等の場合　出産証明書あるいは診断書

㋭　病人看護の場合　病人の診断書

水道料金の自動払込み
＝郵便局でもできます＝

このたび、町の水道料金の自動払込みが、郵便局でもできるようになりました。

手続きは、通帳とお届けの印鑑をお持ちの上、もよりの郵便局でどうぞ。

お年玉

言葉の履歴書

現代っ子にとって、正月はお小遣いの書き入れ時。「お年玉」がバカにできない額になるようです。

「年玉」は新年の賜り物の意とされていますが、「賜」に「玉」の字があてられているところから、いろいろな説が考えられています。

「玉」は丸い形をしたものの総称で、珠（たま）のように美しいもの、大切なものの意味にも使われてきました。「魂（たま）」「霊（たま）」と語源が同じではないかとされるゆえんです。

年のはじめに家長が家族に与える年玉は、お金や日用品になる以前は食物に限られていたようで、米や丸餅（まるもち）などが用いられました。

民俗学では、年頭に餅を神に供え、それを家族に配ると、神の霊威が一人一人に分け与えられたものとしています。

民俗学者の柳田国男（一八七五～一九六二）の説によると、丸餅はもともと心臓の形を模したものでした。丸餅の年玉には、丸い意味の「玉」と、心を意味する「霊」の両義がこめられていたことになります。そうしたお年玉の精神的な意味を、見直す必要がありそうです。

年末・年始の防犯運動

12月11日から
(62年) 1月4日まで

年末を迎え、気ぜわしい毎日が続きます。毎年この時期には、いろいろな事件、事故の発生が多くなります。

阿仁部防犯連合協会、阿仁部防犯連絡協議会、阿仁部防犯指導隊、および森吉警察署では、「事故のない明るい年末」をスローガンに、年末年始の防犯運動を実施します。

○ 実施期間

61年12月11日(木)～62年1月4日(日)まで(25日間)

○ 運動の重点

(1) 犯罪及び少年非行の防止

少年に"愛"の手を。少年の非行を防止するには地域ぐるみの活動が大切です。周囲に目を向け、非行を見つけたら、見知らぬ少年でもすぐ注意を。

(2) 交通事故の防止

年末年始は、酒を飲む機会が多くなります。酒を飲んでからの運転は非常に危険です。地域、職場、家族ぐるみで、「飲まない」「飲ませない」「運転させない」の三ない運動を実施しましょう。

(3) 暴力団の取締り

暴力はみんなの敵です。どんな小さな暴力でも、泣き寝入りせず勇気を持って届けましょう。

(4) 金融機関の強盗被害事件の防止

金融機関を強盗から守るため、みんなの監視と通報が必要です。

不審な人、車をみかけたら、すぐ一一〇番してください。

(5) 「テロ、ゲリラ」に対する警戒

一日中とじこもり、武器などの製造をすることがあります。また、出来あがった武器を山中で試験することがあります。このようなことを見たり、聞いたりしたら届け出してください。

昭和六十一年工業統計調査
石油等消費構造統計調査

事業所の皆さんへ

ご協力ください

＝12月31日＝

運転免許関係手数料改定のお知らせ

＝62年1月1日から＝

種別		手数料額	備考
更新手数料		2,400円	左記のほか交通安全協会費として1,500円必要です。
再交付手数料		2,500円	
免許交付手数料	免許1種類目	1,400円	左記のほか交通安全協会費として1,500円必要です。
	併記、2種類目から1種類につき	200円	

(受験手数料も改定されましたが省略します。森吉警察署でどうぞ)

国民年金だより

シリーズ③

年金を受給するための加入と条件について、シリーズ①と②で紹介しましたが、おわかりいただけたでしょうか?

今回は、受給できる年金額についてのべてみましょう。

老齢基礎年金の年金額について

左図の金額は、二十歳から六十歳になるまでの四十年間、保険料の滞納がない場合です。未納期間があると、それに応じて減額となります。

また、大正十五年四月一日以前に生まれた人(昭和六十一年四月一日に六十歳以上の人)や昭和六十一年三月までに年金を受けていた人は、旧制度の年金額を受けることになります。

年額62万2,800円 (月額5万1,900円　昭和61年度価格)

■年金額の計算式

$$622,800円 \times \frac{保険料納付月数 + 保険料免除月数 \times \frac{1}{3}}{加入可能年数 \times 12}$$

(昭和61年度価格)

■年金額の計算例 (国民年金の加入期間のみの場合)

20歳 ｜保険料納付 10年｜保険料免除 6年｜保険料納付 24年｜ 60歳

(昭和16年4月2日以後生まれの人)

$$年金額 \cdots 622,800円 \times \frac{408月 + 72月 \times \frac{1}{3}}{480月(40年 \times 12)} = 560,520円$$

昭和十六年四月一日以前に生まれた人は、国民年金が発足した、昭和三十六年四月一日には二十歳を越えており、加入期間は、六十歳に達するまでに四十年に満たせません。

そこで表のように、年令に応じて、「**加入可能年数**」が決められ、この期間にすべて保険料が納付されていれば、年額六十二万二千八百円(昭和六十一年度価格)の老令基礎年金が支給されます。

昭和十六年四月一日以前に生まれた人の特例

生年月日	加入可能年数(年)
大正15年4月2日～昭和2年4月1日	25
昭和2年4月2日～昭和3年4月1日	26
昭和3年4月2日～昭和4年4月1日	27
昭和4年4月2日～昭和5年4月1日	28
昭和5年4月2日～昭和6年4月1日	29
昭和13年4月2日～昭和14年4月1日	37
昭和14年4月2日～昭和15年4月1日	38
昭和15年4月2日～昭和16年4月1日	39
昭和16年4月2日以後	40

これをみてもおわかりのように、自分で自分の年金を未納しないできちんと納付するように心がけましょう。

林務だより

山林（ヤマ）づくりに補助制度の活用を

計画書の提出は一月中に

町では、間伐を促進するため、昭和六十四年度まで、五ケ年の計画のもとに「間伐促進事業」を実施しています。

また、造林や下刈り、除伐等の保育のために「森林総合整備事業」を実施しているほか、枝打の促進として「森林整備促進対策事業」も推進しています。

林家の皆さんから、すでに五ケ年計画の樹立にあたって計画書を提出していただいておりますが、六十二年度分について、改めて計画書を提出していただきます。

作業道の開設や造林、下刈り、除伐、雪起し、間伐、そして枝打ちとすべての森林整備に、一定の条件がありますが、国・県の助成制度の活用ができます。

後日、計画用紙を各戸に配付しますので、六十二年一月中に役場農林畜産課林務係へ（八二—二一一四）提出して下さるようお願いします。

なお不明の点等問い合せ下さい。

▶手入れの行き届いた山林

1987年は（昭和62年）国際居住年

重点目標

●二十一世紀に向けてより良い住まいづくりを
●開発途上国に対する国際協力の推進を

IYSH·1987
国際居住年

国際居住年の公式シンボルマーク

このシンボルマークは、国連の人間居住センターが定めたもので、三角形は住居を、中央の人間の姿は世界のすべての国のあらゆる人種の人々を意味しています。周囲のオリーブの枝は、国連のシンボルです。

町づくりに生かされている 皆さんの簡保資金

みなさんが加入している郵便局の簡易保険の積立金は、町の行う福祉、建設事業等の資金として還元融資されています。

私たちの町でも、六十一年度は、「福祉バス購入」「除雪センター建設」「除雪機械購入」「吉田小様線改良」の各事業に還元融資を受けました。

このように、郵便局の簡易保険積立資金は、私たちの町づくりに大きく生かされています。

善意

◎社福協に香典返し

○水無大町の大木松雄さん（亡父・米松）から二万円。
○長畑の高堰稔さん（亡父・徳松）から二万円。
○上新町の三浦和夫さん（亡父・太市）から二万円。
○根子の佐藤敏郎さん（亡母・ハナ）から三万円。
○荒瀬川の渡部広美さん（亡父・芳雄）から二万円。

◎老人ホームに慰問

○阿仁町公民館民謡踊り教室（講師・三浦ヤスさん外五人）の皆さんが、民謡踊りを披露して慰問。
○阿仁合保育園の園児の皆さんが、お遊戯を披露して慰問。
○阿仁部美容師組合（代表・西根フヂヱさん外八人）の皆さんが、整髪奉仕をして慰問。
○森吉町桂瀬の白沢イトさんが、老人ホームで使用して下さいと、雑巾百枚を寄贈。

公民館に図書寄贈

○下新町の佐京寛雄さんが、公民館図書室に俳句集（俳星句集—全五巻）を寄贈。

アマチュア無線技士試験案内

1. 試験の資格
電話級アマチュア無線技士
電信級アマチュア無線技士
2. 試験申請書の受付期間
2月2日(月)から2月25日(水)まで（当日消印有効）
3. 試験の日時
4月1日(水)から4月4日(土)までの指定する日時
4. 試験地
秋田市（秋田市文化会館）
5. 試験手数料
2,060円（受験票郵送料を含む）
6. 試験申請書の提出先
財団法人 無線従事者国家試験センター 東北支部
（〒980 仙台市中央四丁目9−13 仙台ホリビル）
7. 問い合わせ先
電話 テレホンサービス「022−221−4147」
事務用「022−221−4146」

たばこ消費税は暮らしの中に生かされています

●たばこは地元で買いましょう。

十二月は、町県民税・国民健康保険税の納期限です。お忘れなく。

～保健婦だより～
不足しがちな緑黄色野菜

健康になろうとする人々の関心は、近年では「健康食品」や「半薬品的」なものに集中しているように思われます。

しかし、もっと身近なもので大切なものを忘れてはいないでしょうか。そのひとつが野菜です。成人１人１日当り野菜はほぼ300グラムを必要とします。そのうち緑黄色野菜と淡色野菜は各150グラム摂ることが望ましいです。しかし淡色野菜（レタス、キュウリ、トマト、白菜、キャベツ、ナス、サラダ菜等）は約180グラム摂っていますが、緑黄色野菜（人参、ほうれん草、大根葉、パセリ、小松菜、春菊、カボチャ等）は約73グラムしか摂っていません。緑黄色野菜はどれも調理に手間がかかるためあまり食べられていないのではと思います。

緑黄色野菜にはカロチン、ビタミンＣ、食物センイ、各種ミネラルが含まれているため、ガンを抑える効果があるといわれています。緑黄色野菜の不足な食生活を続けていくことは、ガンのみでなくいろいろな慢性病にかかりやすくなります。

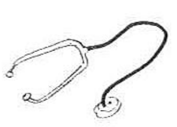
特に冬は野菜不足になりがちです。まして、緑黄色野菜は意識して食べるようにしないと一日一種類も摂らなかったということになりますので、気をつかって調理をして下さい。

冬の寒さに耐えるためには、緑黄色野菜と根茎類（大根、ごぼう、じゃがいも、さつまいも、人参等）を充分食べて下さい。

母子手帳交付日

- ●本　庁　1月6日（火）　8時半～16時半
- ●支　所　1月7日（水）　9時半～12時半

ちょっとお耳を



～こまめに動こう～

冬の長い当地では部屋にこもりになり、どうしても運動不足になり勝ちです。

天気のよい日を狙って、少しでも戸外に出て歩いたり、雪除けをしたり、片ずけ物をしたりして、なまった体を鍛えておくことが大切です。ちょっとした膝の屈伸、寝がえり動作、腕の回転、首ふり運動等、お金をかけずに簡単にできる健康法がたくさんあります。自分の体に適したいくつかの運動法を根気強く続けてみましょう。

酔生夢死はしたくないですね。生き続ける限り体を動かし、少しでも若く、少しでも元気で、春を待ちましょう。

寒さにおびえず、寒さを克服する努力を忘れずに……。（Dr・黒川）

虫歯予防

去る十一月二十日に行なわれた歯科健診の結果、むし歯のなかった子供さんです。

一才六ヵ月児は、全員がむし歯なしでした。がんばって下さい。

笑　内　山田　和人ちゃん
湯口内　柴田　征平ちゃん
新　町　藤井　千鶴ちゃん
比立内　佐藤　佳唯ちゃん
荒　瀬　湊　　祐介ちゃん

三才児は十三人全員にむし歯があり、一人当り四・三本のむし歯をもっていました。これ以上増やさないようがんばって下さい。

虫歯と腎臓病

先日、北鹿地区の保健婦が腎臓病で人工透析をおこなっている人達へアンケート調査を行ないました。その中で、幼い時に「かぜをひきやすかった」「扁桃腺炎をおこしやすかった」「虫歯が多かった」という人がたくさんおりました。虫歯は連鎖球菌（ミュタンス）の感染ですので、全身病になっていきます。虫歯になったら、歯ぐきを腫らしたり、リンパ腺を腫らさないうちに早く治療をして下さい。また、むし歯予防にもかぜ予防にも砂糖類をひかえ野菜をたくさん食べて下さい。

「いつも広報をありがとう」
広報送付の謝礼

当町出身の次の方々から、「毎月広報あにを送って頂きありがとうございます。故郷のことを思い出しながら読ませて頂いています。送料の一部にでもして下さい。」と添えて、送金を頂きました。

○横浜市港北区の鈴木俊美さん（戸鳥内出身）から五千円。
○静岡県湖西市の工藤繁雄さん（畑町東裏出身）から五千円。

慶弔だより

11月　（敬称略）

♡結婚おめでとう

（上杉　実　萱草
　大沢　恵美子　上小阿仁村）
（山田　長正　根子
　西村　真弓　東京都）
（佐々木　修二　荒瀬
　安部　靖子　山本郡）
（柴田　広昭　森吉町
　高橋　美紀子　上新町）

■おくやみ申し上げます

高堰　徳松（84）　長畑
佐藤　ハナ（78）　根子
三浦　太市（88）　下新町
渡部　芳雄（73）　荒瀬川
斉藤　安雄（66）　上新町

1月 生涯教育 学習カレンダー

!! 学んで増やそう、知識と友を !!

1	木	元日
2	金	
3	土	
4	日	消防出初式 10:30～ （行進＝旧阿仁合小一体育館 式典＝町民体育館）
5	月	新年書初め大会 •大阿仁小学校 阿仁ダンス学習会(本館) 19:00～ •自主グループ
6	火	家庭教育電話相談日(82-2066番へ)18:00～20:00 •教育委員会 中村小校内スキー大会(打当スキー場) •中村小学校
7	水	荒瀬分館社交ダンス教室 19:30～ •荒瀬分館
8	木	教育研究所所員発表会(阿仁合小学校) •
9	金	弓道教室（町民体育館）19:00～ •自主グループ
10	土	囲碁クラブ（本館）13:00～ •自主グループ
11	日	ゲートボール練習日(町民体育館)13:00～15:00 •自主グループ 大阿仁小校内スキー大会(松森スキー場) •大阿仁小学校
12	月	阿仁ダンスクラブ(本館) 19:00～ •自主グループ
13	火	家庭教育電話相談日(82-2066番へ)18:00～20:00 •教育委員会
14	水	荒瀬分館社交ダンス教室 19:30～ •荒瀬分館
15	木	成人の日
16	金	弓道教室（町民体育館）19:00～ •自主グループ
17	土	
18	日	ゲートボール練習日(町民体育館)13:00～15:00 •自主グループ 全町囲碁・将棋大会（農村環境改善センター）9:45～15:00 •阿仁町公民館
19	月	各小中学校第３学期始業式 阿仁ダンス学習会(本館) 19:00～ •自主グループ
20	火	家庭教育電話相談日(82-2066番へ)18:00～20:00 •教育委員会
21	水	荒瀬分館社交ダンス教室 19:30～ •荒瀬分館
22	木	秋田県中学校スキー大会（鹿角市花輪）24日まで
23	金	弓道教室（町民体育館）19:00～ •自主グループ
24	土	
25	日	ゲートボール練習日（町民体育館） •自主グループ 阿仁合小校内スキー大会(阿仁スキー場) •阿仁合小学校 根子小校内スキー大会 •根子小学校
26	月	阿仁ダンス学習会(本館) 19:00～ •自主グループ 第32回阿仁部学童スキー大会／第39回大館市北秋田郡スキー大会 監督会議及び抽選会 10:30～ 町民体育館 •教育委員会 ※開催期日 昭和62年２月７日(土)、８日(日) ※会　場 阿仁スキー場
27	火	家庭教育電話相談日(82-2066番へ)18:00～20:00 •教育委員会
28	水	荒瀬分館社交ダンス教室 19:30～ •荒瀬分館
29	木	東北中学校スキー大会（福島県）31日まで 小学校新入生一日入学 14:30～ •阿仁合小学校
30	金	弓道教室（町民体育館）19:00～ •自主グループ
31	土	

•印は、行事主管課及び施設・学習団体の意味です。

学習についてのご相談、お問い合わせ

生涯教育ブルーの窓口

阿仁町公民館　82－2128　　大阿仁分館　84－2040
町民体育館　82－2126
へお気軽にご連絡下さい。(通信教育、放送利用、諸学級、趣味の教室、スポーツ、文化等)

毎月、５日は少年の日です。

すこやかに　伸ばせ　若さと　明るさを!!